

若手のエース営業マンが  
育児休暇!?  
経理部長が親の介護!?  
NO残業での効率化!?  
対策しなきや…でも、無理だ…。

困  
つた



そんな時こそ!!

業績も部下も成長する大チャンス!  
チャンスを活かす方法を  
学びませんか?

# 「イクボス」で会社も部下もハッピーに! ～時間 < 質で業績アップ～

## イクボスとは?

職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指します。

例会中、中小企業でも導入しやすい方法で、効率化の悩みに答えます!

Q 社員が残業代収入を前提に生活設計をしているので  
ノーアボットが難しいです。

A 「同じ成果を出して、残業せず定時で帰った人には、削減した分の残業代をボーナスに上乗せする」という方策があります。これなら本人も、その奥さんも困りません。また、定時時間内で成果を出す風土作りに繋がります。

平成28年 3月24日 木曜日

開 場 17:30～ 開 演 18:00～

場 所 豊橋市公会堂 大ホール  
豊橋市八町通二丁目22

入場無料

【途中入退場自由】

### タイムスケジュール

第一部 18:15～

講師講演

「なぜ、今イクボスか」

講師:安藤哲也氏(NPO法人ファザーリングジャパンファウンダー)

第二部 19:00～

パネルディスカッション

「イクボスの作り方」

講師:安藤哲也氏 大堀正幸氏 田川拓磨氏

後 援

豊橋市/朝日新聞社/毎日新聞社/読売新聞社/中日新聞社/中部経済新聞  
社/東愛知新聞社/東海日日新聞社/株式会社エフエム豊橋/豊橋ケーブル  
ネットワーク株式会社[ティーズ]

# 「イクボス」で会社も部下もハッピーに! ~時間 < 質で業績アップ~

## ■ 主催者挨拶

### 公益社団法人 豊橋青年会議所 理事長 林 啓介

日頃は公益社団法人豊橋青年会議所の活動に際し、格別なご理解を賜り感謝申し上げます。

人口減少と少子高齢化社会の波に対して、企業も個人もその対応を迫られており、それはこの豊橋も例外ではありません。そこで、私たちは3月例会において「[イクボス]で会社も部下もハッピーに! ~時間 < 質で業績アップ~」を掲げ、経営者に意識変革を起し、企業の業績向上と部下の私生活の充実を応援する「イクボス」が率いる企業を未来の企業の姿として提示します。そして、その理念を「イクボス宣言」として私自身が宣言いたします。

JC活動において日頃から私たちは「JC宣言」というものを朗読しています。そのJC宣言の中に「個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動する」という一節があります。すなわち、会社の業績向上と部下の私生活の充実の相乗効果を目指す「イクボス」による「ワークライフバランス」の理念は私たち青年会議所の活動と直結しており、まさに青年経済人として率先して取組むべきテーマと認識しています。本例会を通じて、私たちの提示する未来の企業のあり方が一社でも多く増え、この豊橋が企業も人もまちも活き活きと成長するまちになると確信しております、多くの方々のご参加を心からお願い申し上げます。



## ■ 講師紹介



### 安藤哲也氏

NPO 法人ファザーリングジャパンファウンダー 代表理事 / NPO 法人タイガーマスク基金 代表理事

1962年生まれ。二男一女の父親。出版社、書店、IT企業など9回の転職を経て、2006年にファザーリング・ジャパンを設立。「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」と、年間200回の講演や企業セミナー、父親による絵本の読み聞かせチーム「パパ's絵本プロジェクト」などで全国を飛び回る。子どもが通う小学校でPTA会長、学童クラブや保育園の父母会長も務め、“父親であることを楽しもう”をモットーに地域でも活動中。2012年には社会的養護の拡充と児童虐待・DVの根絶を目的とするNPO法人タイガーマスク基金を立ち上げ、代表理事に。現在、寄付集めや全国で勉強会の開催を手掛ける。

#### 【役職履歴】

厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」、内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員、内閣府「ゼロから考える少子化対策プロジェクトチーム」メンバー、観光庁「休暇改革国民会議」委員、東京都「子育て応援とうきょう会議」実行委員、にっぽん子育て応援団などを歴任。

## ■ パネリスト紹介



### 大堀正幸氏

株式会社大堀商会 代表取締役 / イクボスリフォーム企業同盟  
一般社団法人クラウドライフズ・ジャパンファウンダー 代表理事  
ファザーリング・ジャパンにいがた 代表理事

帝京大学理工学部卒業後、創業者の父親の会社へ入社。バブル崩壊後の経営危機より急ぎよ2002年に代表取締役へ就任。リフォーム工事や水道・空調工事を主な仕事とし、建設業の非効率な所を改善に挑んでいる。そんな中で、2011年マイクロソフトパートナーと出会い、office365、VDIなどを導入し、労働時間15%削減、生産性17%向上の業務効率化に成功。同時に、WLBの観点から新潟県の先進モデル事例、経産省のIT経営力認定企業にも選ばれる。先日6月には他の企業にもクラウドと働き方の融合改善支援のため(一社)クラウドライフズ・ジャパンを設立。

私生活では3歳と5歳の男の子の育児中。イクボスロールモデルインタビューなどを受けるなど、男性の育児参加を積極的に行っている。



### 田川拓磨氏

株式会社ワーク・ライフバランス

2007年三菱オートリース株式会社に入社。大企業向けの営業を主に担当。データ分析による論理的な課題解決から解決策の実行に定評がある。2015年株式会社ワーク・ライフバランスに参画。入社直後から、これまで培った鋭い分析力とスピーディな対応力で社内外の信頼を集めている。一人一人の課題と社会全体の課題とを結びつけ、納得した状態で働き方を変えることを促すサポート力に評価が高い。また、企業に対してはもちろんのこと、将来、社会人になる学生に対して、ワーク・ライフバランスを広めることができ、結果的に日本社会全体を変革できると考え、学校現場での講演も積極的に行っている。

## 【事業主旨】

日本は世界でもまれに見るスピードで少子高齢化社会が進み、私たちの住まう豊橋も例外ではありません。少子高齢化は企業経営にとっても、市場の縮小や労働力の減少など経営の根幹を揺らがせます。そして、労働力が減少する社会では、より少人数で柔軟に業務を回し、男女問わず様々な事情を抱えながら働く社員により活躍してもらわねばなりません。そのためには、一人ひとりの働き方の生産性を高め仕事の共有化を図り、様々な事情による労働時間の調整に柔軟に対応できる「チームマイナス1」を実現する企業になる必要があります。そのような企業は、有事には重要な従業員の長期不在などへの危機対応、平時は余力による売上の増加など経営的な発展も果すことができます。そして、従業員が家庭の事情に安心して取り組める企業制度は、従業員の育児への余裕を生み、ひいては、少子化の食い止めに繋がっていきます。そのような企業改革ができるのは、まさに経営者に他なりません。そこで、経営者が、これから企業の責任を果すために、企業内の効率化と仕事の共有化を進め、生産性の高い働き方ができる環境と制度を整え、家庭も仕事も応援する経営者である「イクボス」となり、「イクボス」企業が広まるよう普及していく例会を実施します。